評価項目表

No	評価項目			記述項目一覧	調達仕様書等の主な該当箇所	記述区分	評価係数	項目評価点（満点時）	
	大項目	中項目	小項目						
1	全般	提案者の概要	提案者に関する概要	・提案者に関する概要（会社概要、主要業務等）を記載、若しくは相当する資料を添付すること。 ・類似実績（空撮画像解析・災害分野のAI開発等）を記載すること。	―	必須	2	**10**	**70**
2		本業務に対する理解	本業務の目的・概要についての理解	・「土木施設の空撮画像から被災箇所を把握するAIシステム」の目的や業務の内容を踏まえて、本調達に対する提案者の理解を記載すること。	(調達仕様書) ・1.1　目的	必須	4	**20**	
3		構築業務要件	構築スケジュール	・本業務実施におけるスケジュールについて具体的に記載すること。 ・第1段階での暫定版の納品内容と実現性（AI解析用PCの調達期間を含む）を記載すること。	(調達仕様書) ・2.2　スケジュール等	必須	4	**20**	
4		プロジェクト管理者	プロジェクト管理要件	・プロジェクト管理者について、以下のいずれかの資格、もしくは同等規模のプロジェクト管理実績を有すること。なお、実績を選択する場合は、当該実績（地方自治体）、実施時期・期間、システム概要を記載すること。 <資格要件> －情報処理技術者試験（独立行政法人情報処理推進機構認定資格）プロジェクトマネージャの資格を有すること。 －技術士（情報工学部門又は総合技術監理部門（情報工学を選択科目とする者））の資格を保有していること。	(調達仕様書) ・5.2　プロジェクト管理者	必須	2	**10**	
5			実施体制要件	実施体制を記載すること。 AI技術者、土木分野の技術者、アノテーション体制などについても記載すること。	(調達仕様書) ・5.3　プロジェクトに関わるステークホルダー	必須	2	**10**	
6	調達仕様書等要件に対する提案	機能要件	機能の実現性	・以下に示す本システムの機能要件について、実装すること。実装できない場合、その代替機能のイメージを示し、効率的かつ正確な業務の運用が行えることを具体的に明示・説明すること。 ・提案内容では機能要件を満たせないと判断した場合は減点する。	(別紙2 機能一覧)	必須	12	**60**	**500**
7				A0101　メニュー表示機能	(別紙2 機能一覧)				
8				A0201　画像解析実行（静止画）	(別紙2 機能一覧)				
9				A0301　解析実行一覧表示機能	(別紙2 機能一覧)				
10				A0302　解析実行結果削除機能	(別紙2 機能一覧)				
11				A0303　解析実行結果ファイル表示機能	(別紙2 機能一覧)				
12				A0401　検知事象一覧表示機能	(別紙2 機能一覧)				
13				A0402　検知事象削除機能	(別紙2 機能一覧)				
14				A0501　地図表示機能	(別紙2 機能一覧)				
15				A0601　帳票作成機能	(別紙2 機能一覧)				
16				A0701　検知事象、閾値設定機能	(別紙2 機能一覧)				
17				A0702　利用者マニュアル	(別紙2 機能一覧)				
18		機能要件	システムの実現方法	・機能一覧に記載した項目以外で、本システムの機能について更なる工夫・有用な提案があれば、具体的に機能を示すこと。	(別紙2 機能一覧) ・全般	任意	4	**20**	
19		AIモデル	モデル概要	・本システムで実装する事象検知AIモデルの概要（物体検知モデル、画像分類モデル、複数のモデルやシステムを組み合わせること　等）についてイメージを示し、効率的かつ正確な業務の運用が行えることを具体的に明示・説明すること。 ・ローカル（AI解析用PC）で推論を行う前提であることが明示されていること。 ・使用するAIモデルについて、提案する課題に対して技術的に対応可能であることを示すこと。	(調達仕様書) ・3.4.1　および 3.4.2　　(1)モデル概要	必須	16	**80**	
20			検知対象事象	・本システムでは、災害種別として「道路崩壊」「道路閉塞」「護岸崩壊」「土砂災害」を「被災箇所」として検知するものとしている。検知が困難な災害種別がある場合は、その災害種別と理由を示すこと。 ・提案内容では要件を満たせないと判断した場合は減点する。	(調達仕様書) ・3.4.1　および 3.4.2　　(2)検知対象	必須	8	**40**	
21			災害種別の区分	・本業務において、対象事象を「被災箇所」としてまとめて検知せず災害種別を個別に検知する場合や、検知した「被災箇所」について災害種別を区分することができる場合は、その方法を示すこと。	(調達仕様書) ・3.4.1　および 3.4.2 (1)モデル概要 (2)検知対象	必須	12	**60**	
22			検知精度	・調達仕様書では再現率90%を目標（適合率はできる限り高いこと）としている。事象検知AIモデルにおける再現率、適合率の目標値と実現方法、対象外とする事象（対象事象の範囲が小さい、影になっているなどの検知不可能な条件等）について、具体的に明示・説明すること。 ※なお、次年度以降にカスタマイズするような方法を想定し、目標値を設定することでも構わない。	(調達仕様書) ・3.4.1　および 3.4.2 (3)検知精度				
23				精度目標と根拠（実証データ・検証条件）		必須	16	**80**	
24				学習データの確保・アノテーション体制・精度向上策		必須	16	**80**	
25				精度検証計画（検証方法、閾値運用、除外条件）		必須	8	**40**	
26		その他	システムの拡張性	・提案するシステムの拡張性について、検知精度向上の方法や将来的な機能拡張内容について提案することがあれば、具体的に記載すること。想定する外部システムとの連携先および連携手法について示すことが望ましい。	(調達仕様書) ・3.4.6　その他	任意	8	**40**	
27		非機能要件	非機能要件	・本システムの非機能要件をふまえて、実装すること。非機能要件を担保できない場合、その代替方法を示し、効率的かつ正確な業務の運用が行えることを具体的に明示・説明すること。	(調達仕様書) ・4.1～4.7				**140**
28				ユーザビリティ及びアクセシビリティ要件 ・不慣れな職員でも使える容易な操作性となっていること。	(調達仕様書) ・4.1　ユーザビリティ及びアクセシビリティ	必須	8	**40**	
29				性能要件 ・処理時間 ・システムの画面応答時間　等	(調達仕様書) ・4.4　性能に関する事項	必須	8	**40**	
30				情報セキュリティ要件	(調達仕様書) ・4.5　情報セキュリティに関する事項	必須	4	**20**	
31		保守要件	保守要件	・現時点で県が想定する保守業務の要件は6.保守要件の記載内容となるが、本要件を担保できない場合は、対応可能な保守内容を具体的に提案すること。 ・追加学習・モデル更新の体制」「5年間程度の保守費・追加学習費の参考見積」	(調達仕様書) ・6.保守要件	任意	8	**40**	
32	その他	追加提案	本県に有益な提案	・本システムの充実及び本プロジェクトの適切適正な遂行に資する有益な提案があれば示すこと。 （例：撮影計画の支援、被災位置の地上座標化、解析済みの画像から順に結果を表示する機能、被害報告様式との連携）	－	任意	8	**40**	**40**
								750	